

さつま議会だより

平成31年2月21日発行 No.56



条例等の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2P
補正予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	3P
常任委員会審査、陳情審査・・・・・・・・	4P
一般質問(6人)・・・・・・・・・・・・・・・・	6P
決算特別委員会審査概要・・・・・・・・	12P
所管事務調査報告、議長の動静・・・・	13P
議会活動・編集後記・・・・・・・・・・・・	14P

かわいいね! ささ福かざり

第4回(12月)定例会は、12月5日から26日までの22日間の会期で開かれ、条例の改正や各会計の補正予算などを慎重に審議しました。議案の概要と審査の結果をお知らせします。

12月定例会

旧白男川小学校

現在、改修工事が行われている旧白男川小学校は、名称を「うましき里きららの楽校」として、平成31年4月に新たなスタートを迎えようとしています。施設の運営や維持管理等を行う団体として、「うましき里きらら協議会」(満園美俊会長)を指定管理者として指定することを可決しました。

2012万円に設定しました。うましき里きらら協議会は、地元白男川地区の有志で組織され、構成員には区公民館長、区会計、区代議員、各公民会長、民生委員、区内で活動されている各自主グループ、地元役員職員等が入っています。

旧白男川小学校の体育館は、社会体育施設として、町シルバー人



改修工事の状況を調査

旧白男川小学校

指定管理者を決定

うましき里きららの楽校

条例等の概要
町の法規を探る

さつま町うましき里きららの楽校条例の制定について

【原案可決】

旧白男川小学校が、「うましき里きららの楽校」として生まれ変わり、地域住民のコミュニティの場、都市農村交流及びスポーツ合宿施設として設置されることに伴い、条例を制定しようとするものです。

さつま町営住宅等条例の一部改正について

【原案可決】

平成28年度から船木地区に整備中のおしどり団地に新たに6戸完成することから、団地の戸数を10戸から16戸に改めるものです。平成33年度までに、全体で30戸整備されます。



整備が進むおしどり団地

材センターに管理を委託していましたが、うましき里きららの楽校が設置されることから当該体育館も一体的に管理することとし、今後は指定管理者が使用許可を行います。

◆平成30年度12月補正予算◆

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	3億4,928万円	142億8,884万円
国民健康保険事業特別会計	1億5,698万円	31億3,670万円
介護保険事業特別会計	235万円	34億9,011万円

※金額は千円単位を四捨五入

◆平成30年度12月追加補正予算◆

会 計 名	追加補正額	補正後の予算総額
一 般 会 計	△2,860万円	142億6,024万円
上水道事業会計(支出予定額)	△219万円	6億1,927万円

※金額は千円単位を四捨五入

※12/26に追加提出された補正予算

補正予算の概要

～今後の事業展開を探る～

平成30年度さつま町の一般会計補正予算(第3号)、国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)及び介護保険事業特別会計補正予算(第2号)は、両常任委員長の審査報告のとおり原案可決しました。

また、12月26日に追加提出された一般会計補正予算(第4号)及び上水道事業会計補正予算(第2号)の概要を、4ページに掲載しています。

ごみ処理管理費

557万円

ごみ処理費の削減、焼却炉の延命化などを目的として、先行して虎居区で生ごみ収集を行っています。平成31年度中のできるだけ早い時期での全町的な実施に向けて、収集用バケツ1,200個の購入を行います。



虎居区で実施中の生ごみ収集

ふるさとさつま応援寄附金事務費

1,967万円

平成30年度のふるさと納税の伸びを考慮して4千万円増額し、総額1億4千万円としています。歳出では、増額分の30%の返礼品や楽天ふるさと納税システムの利用料等を見込んでいます。



楽天ふるさと納税サイトの画面

旧白男川小学校改修事業費

△1,865万円

平成31年4月にオープン予定の「うましき里きららの楽校」の式典費用や、本年2月の施設完成から3月までの2カ月分の施設維持費等を計上しています。また、工事請負費の執行残分を減額するものです。



多目的スペースの改修状況

小学校教室等空調設備整備費

2億7,947万円

国の補助金を活用して、町内9小学校すべての普通教室77室、多目的教室等4室、用務員室8室に冷暖房の空調設備を整備します。(平成31年4月に再編される宮之城中学校の普通教室には、既に空調設備が設置されています。)



宮之城中学校に設置済みの空調設備

民間路線バス定期券購入費

351万円

町通学費補助条例の一部改正に基づき、中学校再編に伴い民間路線バスを利用して通学する生徒の定期券を町が購入し、交付するものです。交付対象者数は、宮之城・山崎中・鶴田中・薩摩中あわせて約150名です。



通学に利用する路線バス(大口宮之城線)

災害復旧事業費

1,720万円

9月20日から21日に発生した集中豪雨(日雨量186mm、時間最大46mm)により農地7件、施設2件が被災し、災害復旧に要する経費が計上されています。なお、標準工期が取れないことから、翌年度に繰り越して支出します。



集中豪雨による水田の被災状況

常任委員会審査

総務厚生

委員会審査の中で出された質疑、意見などの主な事項を掲載しています。



平成11年に建設されたあび〜る館

健康ふれあいセンターあび〜る館の修繕対策は。

【森山】

一般会計補正予算 (第3号)関係分

総務厚生常任委員会に付託された平成30年度さつま町の一般会計補正予算(第3号)関係分、国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)及び介護保険事業特別会計補正予算(第2号)の議案3件は、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

答 指定管理期間終了後の管理のあり方を検討中で、平成32年度末までは必要に応じて修繕を行っていく。

防災行政無線戸別受信機設置に伴う業者と各家庭との連絡調整は十分か。

【宮之脇】

答 アンケートで承諾を得られた家庭へ連絡し設置を進めるよう業者と打ち合わせている。

要請事項

設置状況等も含め再度確認し、早い時期に設置が完了するよう要請する。

国民健康保険事業特別 会計補正予算(第1号)

今後も医療給付費や療養費が増える見込みか。

【森山】

答 被保険者は年々減少しているが、医療費は高額な医薬品や高度医療等により、同額程度で推移している。

全町実施に向けた生ごみ収集業務の入札方法は。

【宮之脇】

答 業務の確実な履行が求められるため、委託要件や国からの通知を満たす入札方法を検討したい。



生ごみ収集用バケツの回収

介護保険事業特別会 計補正予算(第2号)

認知症の方々は地域福祉ネットワーク等見守り活動の対象に含まれないのか。

【新改(秀)】

答 各地域の取り組みに違いがあるが、研修会等で認知症の方を含めた見守り活動の推進を図っていく。

追加議案

12月26日の最終日に追加提出された4件の議案については、委員会付託を省略し、本会議において質疑・討論・採決を行った結果、原案のとおり可決しました。

主な内容は、法改正による町長等の期末手当の支給率の改正及び人事院勧告に基づく職員の給与改定等による人件費の調整に要する経費等を補正するものです。

議案名	内容等
さつま町長等の給与に関する条例の一部改正について	町長等の期末手当を0.05月分引き上げ、併せて議会議員の期末手当も準ずる
さつま町職員の給与に関する条例の一部改正について	給与の平均改定率を0.2%、勤勉手当を0.05月分引き上げ
平成30年度さつま町一般会計補正予算(第4号)	給与改定等に伴う人件費及びその他の所要の経費を補正、2,860万2千円を減額
平成30年度さつま町上水道事業会計補正予算(第2号)	職員8名の給与改定に伴う増額分と人事異動に伴う減額分等

どうなった!!あなたの請願・陳情

1件の陳情を審査しました

不採択

◎陳情者

商工会に対する平成31年度補助金増額等について

・鹿児島市名山町9番1号

鹿児島県商工会連合会

会長 森 義久

・さつま町宮之城屋地1531番地

さつま町商工会

会長 白石 和弘

文教経済

文教経済常任委員会に付託されたさつま町うましき里きららの樂校条例の制定について、さつま町社会体育施設条例の一部改正について、さつま町営住宅等条例の一部改正について及び平成30年度さつま町一般会計補正予算(第3号)関係分の議案4件は、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、さつま町うましき里きららの樂校の指定管理者の指定については、可決すべきものと決定しました。

さつま町うましき里きららの樂校条例の制定について

合宿等利用料金とコンベンション料金との整合性は。

【上久保】

答 コンベンションで宿泊する場合は、室料、食事代等を含めて、コンベンション協議会の統一した基準料金を適用していく。

一般客の受け入れは。

【岩元】

答 宿泊を希望される場合は、民間に影響を与えない範囲で受け入れていきたい。

さつま町社会体育施設条例の一部改正について

白男川地区体育館の今後の利用方法は。

【上久保】

答 うましき里きららの樂校の指定管理者が使用許可を行うが、管理者がかわるだけで利用形態は変わらない。

さつま町営住宅等条例の一部改正について

おしどり団地の入居状況と募集状況は。

【川口】

答 16戸のうち10戸は入居済み。残り6戸のうち五日町団地からの戻り入居が3戸、他団地からの住み替えが2戸、残り1戸は募集を行う。



完成したおしどり団地の住宅

さつま町うましき里きららの樂校の指定管理者の指定について

うましき里きらら協議会の会員に公民会長等役職名があるが白男川区民の総意は。

【岩元】

答 区公民館組織による運営体制は困難と判断された。協議会の構成員となることは代議員会で了承されている。

指定管理料に不足を生じた場合の取り扱い。

【上久保】

町長 実績のない中でスタートとなる。1年を通して課題等をつかむ必要があり、計画と実績とは相違が生じる可能性がある。収入の確保を図り、赤字補てんという安易なことではなく、自主事業に対して経営感覚を持つて努力されるよう申し入れていきたい。

協議会の役員交代による運営への影響は。

【米丸】

町長 継続的に軌道に乗るまでは、現体制で運営されるよう申し入れていきたい。所期の目的を達成できるように指定管理者と定期的な協議を行い、指導・監督していく必要がある。

一般会計補正予算(第3号)関係分

獣害対策用のワイヤーメッシュ柵の要望と維持管理は。

【米丸】

答 設置後は14年間の維持管理の義務付けがあり、事業申請を断念された地域がある。職員による正しい設置方法の指導と併せ、地域ぐるみで追い払う取り組みを行っている。

日系外国人労働者受け入れの住居は。

【上久保】

答 住居は全て派遣会社が契約し、順調に確保されている。アパートより一軒家を希望されている。

通学路の危険箇所の調査と児童への指導状況は。

【川口】

答 危険ブロックは複数箇所確認した。通学路を変更するなどの指導をしている。

中学校再編に伴う通学手段への対策は解消されたか。

【柏木】

答 バス体系として11路線整備されているほか、自家用車送迎補助や自転車購入補助に自転車通学補助を新たに併給可能とするなど支援していきたい。

文化センターの建設時期と基金の積立期間は。

【柏木】

答 建設検討委員会を立ち上げ、建設年度、基金積立額及び総体的な施設の仕様等を含めて検討している。



築45年経過している宮之城文化センター

子どもの発達支援の現状と課題は

町長／丁寧に時間をかけて



森山 大 議員

一般質問

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。

問

乳幼児健診を通じて、発達が気になる子ども達に対して親子教室へ参加を促し、またクオラバンビーノへの利用者も増えてきている中で、発達支援に対する現状と課題をどのように捉えているか。

答

親子教室の実利用者数は平成27年度67名、28年度67名、29年度72名と未就学児童が利用している。更に発達が気になる場合には、臨床心理士による発達相談を受けて、クオラバンビーノ等の療育をお願いしている。



発達支援センター「クオラバンビーノ」

具体的な支援策は

町長／専門家と連携

問

子ども支援課を設置し、妊娠期から出産、子育てまでの相談・支援をワンストップで行う拠点として示された。今後の発達が気になる子どもへの支援をどのように考えているか。

答

支援関係者の人材確保も重要であり、保育士等の子育て人材バンク制度を推進し、保育・教育現場等で感じている課題、質問など、専門家と討論する方法を考えている。

特別支援教育の現状は 教育長／子どもに応じた支援を図る

問

本町における特別支援教育を受けている児童数や学校数はどのような状況か。

答

現在12の小・中学校で特別支援教育に係る児童生徒数は

114名で教育的支援を必要としており、18名の特別支援教育支援員を配置している。各学校の現状を把握しながら、それぞれの子どもに応じた支援を図る必要がある。



庁舎内に設置されている子育て世代包括支援センター



岸良 光廣 議員

行政改革

赤字補てんはありえるか

町長／やらないとわからない



うましき里きらの楽校として生まれ変わる旧白男川小学校

問

うましき里きらの楽校を指定管理で行う場合、他の指定管理等との整合性から、赤字補てんはさつま町としてはできないと思うが、赤字の場合は白男川地区で補てんを行うのか。

答

初めてのことで、あるので、1年から2年やってみたいと分らないが、2年間指定管理でしっかりと実績をつんで、3年以降の指定管理料の適正化を考えたい。

民業圧迫はしないのか

町長／そのような計画ではない

問

うましき里きらの楽校で、来年4月から年間1100人以上の宿泊をとる計画であるが、民業圧迫につながらないか。また、月9日の年間108日の営業で経営ができるのか。赤字経営になるおそれはないのか。

答

あくまでもスポーツコンベンション等や一般者の宿泊を行うことは初めてのことであるので、まずはやってみないと分からない点があると考えている。

人口と職員数の適正化を

町長／今後について考える

問

今の状況から考えると、10年後さつま町の人口は1万6千人、15年後は1万3千から1万4千人になることが現実味をおびてきている中で、人口数と職員数の適正化を早急に見直すことが必要なのではないか。

答

確かに人口減少のスピードが速くなっているのは実感をしている。今後について、人口数と町職員数の適正については、状況を見ながら対応を行っていききたい。

人口の推移について

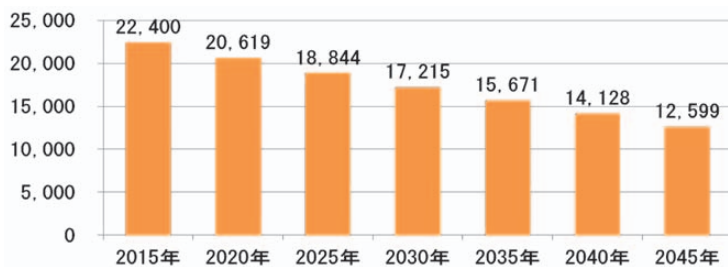
町長／人口減は認識している

問

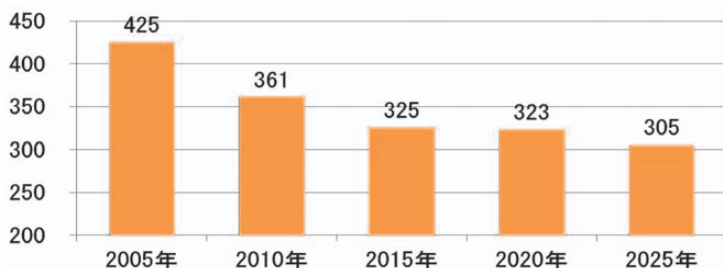
第3次行政改革推進計画には、人口数と町職員の適正な職員数について何も説明をされていないのはなぜか。現状では年間480人から人口減少になっているのが現状である。

答

第3次行政改革推進計画は、平成27年に5年間の計画をしたもので、その時点では年間300人前後の人口減だったので、人口数と職員数については考えていなかった。



さつま町の将来推計人口（出典：国立社会保障・人口問題研究所）



町職員の定員管理計画

農業振興

地場産品を活かした推進策は

町長／重点品目を推進



川口 憲男 議員

問 後継者不足や担い手の減少で厳しい中、食糧の安定的供給と多面的機能を維持

することは、地域の発展に大きな役割を果たしている。地場産品を活かした農業の推進策は万全か。

答

農業を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっている。各種事業の活用により、地場産品を活かした重点品目の推進に取り組んでいる。



重点品目となっている里芋の収穫作業

中山間部の農業振興策は 町長／農地中間管理機構の活用を図る



すべての区で農業を語る会を実施している（時吉区）

問

各地域の農業活性化策として、適地適作や農産加工など各区の農業を考える会等で話し合い活動を進め、担い手への集約を図ることだが、中山間部の農業振興策をいかに取り組む考えか。

答

中山間部は、比較的小規模な農地

が多いことから、農地中間管理機構による農地集積や圃場整備による条件整備、機械の共同利用の導入を含め、集落営農の推進に取り組んでいる。来年度からは柘野地区で農地中間管理機構関連の農地整備事業と、水利施設等保全高度化事業が実施される。

農の里親制度の成果は 町長／活用実績は1件

問

平成29年6月から農の里親制度に取り組んでいるが、2年目の成果はどのようなになっているか。また、後継者育成の観点から、農業活性化と人口増対策の考えは。

答

制度の活用実績は現在1件だが、

新規就農者は年間5名程度で、指導農業士や先進的農業経営者の理解をいただき、新規就農者の掘り起しや育成など担い手への支援を行う。農業は本町の基幹産業で、担い手の確保は喫緊の課題と捉え、今後も力を注いでいく。



農の里親制度第1号としてトマト農家で研修中



米丸 文武 議員

観音滝公園

故障した温泉ポンプの更新は

町長／断念せざるをえない



観音滝公園「滝の宿」の浴場

問

観音滝公園の温泉施設ポンプが、

平成24年7月以来2度目の故障が発生した。多額の修繕費が必要のため、平成31年3月末で温泉施設の運営を中止したいと発表された。中心的温泉施設の廃止は、他の施設の利用に大きく影響すると思うが、どのように考えているか。

答

ポンプ更新を協議したが、井戸内鋼管の劣化が相当進んでおり、鋼管の補強に2千万円から2700万円程度必要となることから、温泉ポンプの更新は断念せざるを得ないと判断した。

均衡ある発展につながるか

町長／様々な選択と判断が必要

問

同公園は、平成元年から12年間で17億800万円を投じて整備された薩摩地域の住民福祉や観光交流の重要拠点である。現在7万人以上が来園し、3万8700人が利用している温泉施設を閉鎖しながら、一方白男川のさららの楽校を新たに設置することは中心部と周辺部の均

衡ある発展に繋がらないと思うが、どのように考えているか。

答

今回の温泉ポンプの停止により、観音滝公園の他の施設への影響があることは否めない。今後は、町の基本的な考え方を指定管理者に伝え、対応次第では様々な選択・判断が必要になる。

住民の理解は

町長／説明し理解を求める

問

地区住民等が温泉を利用できなくなることは、不便になると同時に行政サービスの低下である。地区住民に説明して意見を聞き、住民理解の上で判断すべきと思うが、どのように考えているか。

答

これまで指定管理者の指定や修繕等の予算、運営状況などその都度議論や意見を聞いてきた。町としての考え方をできるだけ早く地域住民に説明し、理解を求めている。

指定管理の契約変更と補償は

町長／指定管理者と協議していく



運営や維持管理を指定管理者に委託している観音滝公園

問

指定管理者との契約条項に変更が生じるが、温泉施設の廃止は、利用客の減少と売上収入の減少となり、残り2年間の補償をどうするのか。また、契約解除を想定されているのか。今後の公園施設の管理方法の考えは。

答

指定管理者からは、町の考え方を正式に聞いた上で今後の対応を検討、協議したいとされている。指定管理期間が2年4カ月残っているため補償等も予想される。今は町の考え方を伝えることが先決と考えている。

道徳教育

心の教育の充実は

教育長／道徳授業を実践



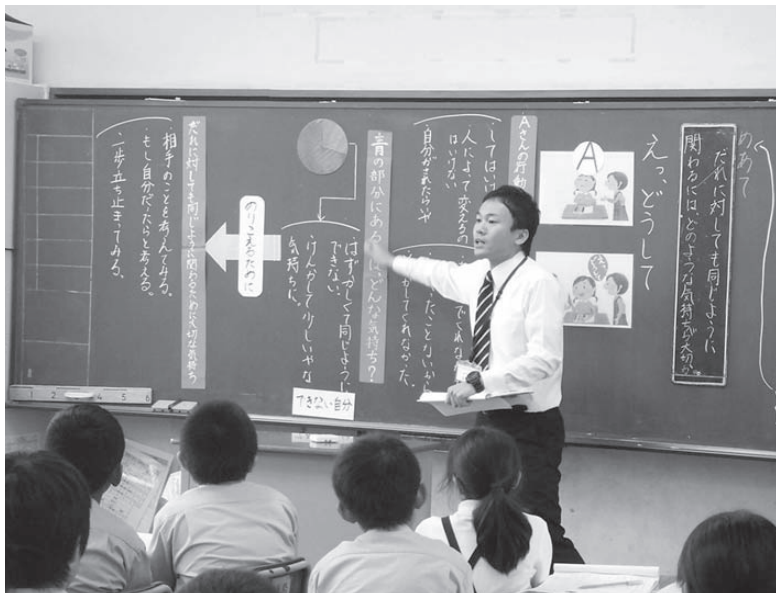
朝倉 満男 議員

問 道徳心に欠ける児童生徒であつてはならないと思うが、町では心の教育にどのような取り組みをしているのか。

答 心の教育については、道徳の授業の充実、体験活動の促進、読書活動の充実及び人権教育の充実の4点から取り組みを進めている。児童生徒が自分自身の問題として考え議論しながら、道徳的な価値について理解を深めていく授業の実践に努める。



昼休み時間に校庭で遊ぶ児童



新学習指導要領により特別の教科となった道徳の授業風景

いじめ防止の対応は
教育長／早期発見に努める

問 子どもの心はガラスのようなものだと思うが、家庭と学校ではどのようなことをすれば、いじめが少なくなると考えているか。

答 いじめを一件でも多く発見し、それらを解決する学校こそが、家庭や地域から信頼される学校であるという認識に立って、学校教育活動を行うよう指導している。

さつま町 Satsuma Town

ホーム 暮らしの情報 町の情報 観光情報 農林業 商工業

ホーム > 町の情報 > 町議会 > さつま町議会

町議会

- さつま町議会
- 議会の概要
- 会議録
- 議会だより
- 議会映像
- ライブ中継**
- 傍聴案内
- 町議会議員名簿
- 議題・雑情
- 定例会等予定表
- 一般質問通告一覧

さつま町議会

春 夏 秋 冬

議会からのお知らせ

平成30年第4回（12月）定例会が開催されます。日程については左の「定例会等予定表」をご覧ください。「ライブ中継」から本会議の様子を視聴できます。また、役場本庁・各支所ロビーのテレビでもご覧いただけます。

◇議会傍聴へお越しください◇

○日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット(YouTube)で、本会議の中継を視聴することができます。

○次回は2月27日開会予定です。

議会情報を満載

《さつま町ホームページ》
<http://www.satsuma-net.jp>

トップページの下の画面から議会情報をご覧になれます。

さつま町議会

QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。



三浦 広幸 議員

災害支援

大災害時の支援体制と拡充は

町長／協定締結22件 拡充4件

問 今年のような平穏な年に、更なる安心安全な社会構築のため、温暖化による豪雨や、いつ発生するか

予想できない大地震などの大災害に備えた周到な準備と訓練が必要であると考えている。大規模災害時応援協定の主な概要と、今後の拡充予定はないか。

答

民間の団体等と各種の応援協定を締結している。町では人的・物的支援など22件、鹿児島県が締結している医療支援やし尿汚泥処理など、様々な分野で31件の支援も受ける体制ができています。今後は、食料を含めた物資調達、復旧活動支援など4件の拡充を予定している。



郵便局と災害時応援協定を締結 (H28.2)

災害時の外部と内部の体制は
町長／職員OBや地域支援を検討

問

電源喪失が長引いた場合、内水対策を必要とする川内川など人による目視監視ができる災害モニター設置、避難所管理要員や災害対応が発生し職員が不足する場合、経験ある役場退職者の登録支援などは検討されないか。

答

大災害時には、現在協定を締結している事業所で水位監視を行っている。職員削減を進める一方、職員を避難所運営などに長時間にわたり管理を行わせており、避難所要員の不足が生じてきている。役場退職者や地域からの支援方法などを現在検討している。

情報通信

町長／2020年から着手予定

光回線未整備地区の計画は

問

2020年には第5移動通信システムの開始が予定されているが、情報通信基盤の未整備地区では、IoTサービスが利用できず、農業・高齢者等の見守りや防災、車の自動運転など地域の

答

課題解決や地域の活性化ができない。今後の情報通信基盤の整備計画の考えは。NTTに整備の要望を行ってきたが、負担金方式になって整備への可能性が見えてきた。来年度に整備計画を策定し、2020年から電話交換局

未整備6局の優先順位は

町長／観光地の優先度が高い

問

電話交換局単位で整備を進めていくとのことだが、光回線未整備の6交換局の優先順位の考えは。

答

光回線が未整備のため苦情や不満が多く、整備された地域に観光客が流れている。宿泊施設のある観光地などからの要望が強い。観光客の増加が町の経済振興に大きく寄与することから、宮之城温泉や紫尾温泉など観光地の優先度が高いと考えている。



光回線の整備が待たれる宮之城温泉街

平成29年度の決算を認定

さつま町歳入歳出決算（一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、農業集落排水事業特別会計）

さつま町上水道事業会計決算（未処分利益剰余金の処分含む）

第3回定例会の最終日（9月28日）に審査が付託された8人の委員で構成する決算特別委員会では、委員長に米丸文武議員、副委員長に新改幸一議員が選任されました。

審査は10月2日から5日までの4日間の日程で、さつま町歳入歳出決算及び上水道事業会計決算について慎重に審査を行い、12月5日の本会議において決算特別委員長の報告のとおり、いずれも認定しました。

審査の過程で論議された一部について掲載します。

消防団員の充足率と住宅用火災警報器の維持管理は。
 答 団員定数に対し30人程度不足している。警報器設置義務後、間もなく耐用年数の10年を迎える。消防団や公民会長等へ確認等の協力依頼を検討したい。

小中学校の通学バス運行に問題は発生していないか。

答 年1回運行事業者等と会議をしており、順調に運行されている。乗り降りの際もスムーズな対応をされている。



バスで通学（白男川）

要支援者177人に対して特別支援教育支援員18人で適正な対応ができているか。

答 学校としてはもう少し欲しいが、再編に伴う中学校分を活用したい。

給食の残食と異物混入の状況は。

答 3給食センターとも残食は少ない。特に問題となる異物混入は発生していない。



3センターで約1,850食を調理

地域高齢者の見守りへの民間事業者の協力体制は。

答 7つの協力事業所のほか、特に社会福祉協議会の福祉給食を届ける際に異変に気づいている。

農地所有者死亡による相続等届け出の状況は。

答 所有者死亡の場合は届け出が必要だが、全てが届けられていない。名義変更するよう指導している。

商工業の新規参入者支援事業を活用し起業された方で廃業された方の状況は。

答 これまで5名が廃業された。事業を活用しやすいようあまり制限をかけていなかったが、このような状況が続けば制限をかけていく必要がある。

国民健康保険の高額療養費が増加している要因は。

答 筋骨格系の手術など高度な医療が増加している。ほかに高血圧性疾患や腎不全等の重症化も増えてきている。

家族介護・老老介護の状況は。

答 自宅での準寝たきり46人、寝たきり15人がおられるほか、認知症を含め、家族で介護される方の負担が大きいと思われる。

一般会計における収入未済額は約3億1千万円となっているが、債権の整理を図る必要はないか。

町長 税の徴収は公平性の観点から最大限の努力をし、手続きを踏まえて滞納処分を行っている。債権管理条例の制定について検討するように指示している。

日常生活道路の維持管理のため町道路整備員の維持が必要だが、今後の体制は。

町長 道路整備員は1班5名の2班体制により維持管理に努めているが、現在は8名である。公民会等の要望に応えるためにも10名を確保していきたい。



道路整備員による支障木の伐採作業

【決算特別委員】
 上久保、三浦、米丸、舟倉、朝倉、新改（幸）、宮之脇、新改（秀）

先進地から学ぶ

総務厚生常任委員会レポート

平成30年10月31日から11月2日にかけて兵庫県佐用町と鳥取県智頭町を調査しました

防災対策

■兵庫県佐用町

佐用町では、平成21年8月の台風9号による集中豪雨で、市街地を流れるほとんどの河川が氾濫し、死者18人、行方不明者2人、全壊家屋139棟を含む被害家屋1790棟など町内全域にわたり甚大な被害が発生しました。災害対策の要である役場庁舎や公用車等も浸水被害を受けたため、その後の被災住民の対応や応急復旧に苦慮されていきました。

平成22年に外部の有識者で組織する検証委員会を設置され、90項目にわたる提言書を作成し、町に提出されています。



防災対策について担当者から説明を受ける（佐用町）

町では、多岐にわたる項目を着実に遂行していくため、職員による提言推進プロジェクト委員会を組織し、短期・中期・長期の3段階に振り分け、確実な実施に向けて取り組み、現在では、90項目のうち数項目を残し、ほとんどを実施済みとのことです。

定住対策

■鳥取県智頭町

主な取り組みとして、地域防災計画や各種行動マニュアルの抜本的見直し、緊急招集体制の構築、防災専門研修受講による各種判定士の資格取得、各地域に災害モニターを配置し、河川や道路の状況をリアルタイムで把握しながら、町民へ情報提供を行っていました。

智頭町では、全国でも例を見ない疎開保険制度に取り組み、保険加入者が災害救助法を適用される災害に遭った場合、智頭町に来ていただき一週間程度無償で食事や宿泊所を提供し、これを契機として町の定住促進に活かしていく制度を創設されていきました。

また、旧宿場町として栄えた街並みや国指定有形文化財に登録されている石谷邸、手入れの行き届いた植林群は見事で、年間を通じ

て観光客が訪れています。土地に根付いた古いものを大切に保存しながら魅力あるまちづくりが行われていました。

今回の研修を通して、本町でも近年大きな災害に見舞われてきましたが、今後の新たな災害に備えて防災体制や資機材等の徹底した点検と、実効ある防災訓練を定期的に実施しながら、町民の防災意識の高揚と町における防災対策に万全を期されたい。また、真に必要な政策だけに取り組んできている智頭町の姿勢には一貫性があり、住民の行政に対する理解度が深く浸透しているように思われました。

新たな施策を展開するうえで、行政内部だけでなく広く町民のコンセンサスを得ることと、一定の議論の時間を持つことが必要不可欠であり、今後の行政運営にあたっては、十分留意されるよう要請しました。

議長の動静（平成30年11月～31年1月）※主な会議・行事

■11月

- 2日（金）山崎中学校文化祭
- 4日（日）さつま町文化祭、紫尾温泉まつり
- 5日（月）さつま町・伊佐市議会議員交流会
- 6日（火）北薩地区植樹祭
- 8日（木）さつま町商工会青年部全国大会出場激励会
- 9日（金）県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会【鹿児島市】
- 10日（土）盈進小学校創立160周年記念セレモニー
- 11日（日）伊佐市市制施行10周年記念式典
- 12日（月）県町村議会議長会監事会・理事会【鹿児島市】
- 13日（火）宮崎県国富町議会行政視察受入
- 16日（金）さつま町戦没者追悼式
- 17日（土）区公民館対抗グラウンドゴルフ大会
- 19日（月）さつま地区保育連合会との懇談会
- 21日（水）町村議会議長全国大会【東京都】
- 25日（日）船木秋まつり、きららの里まつり、平川郷祭り
- 30日（金）脱原発鹿児島フォーラムほか要請行動対応

■12月

- 14日（金）防衛施設に関する要望【熊本市】
- 15日（土）ハモニーさつま結成10周年コンサート
- 17日（月）燃ゆるかごしま国体さつま町実行委員会総会
- 19日（水）さつま町防衛施設誘致推進協議会
- 23日（日）さつま町シルバー人材センター納会研修会
- 27日（木）天神公民会豊川イベント広場オープン式

■1月

- 1日（火）新春泳ぎ初め
- 4日（金）さつま町成人式
- 6日（日）さつま町消防出初式
- 7日（月）新年あいさつ回り（国・県関係）
- 8日（火）新年あいさつ回り（町内関係）
- 19日（土）阿久根市民交流センター開館記念式典
- 20日（日）さつま町女性大会
- 27日（日）鶴田ダム再開発事業完成式典
- 29日（火）県町村議会議長会議員研修会【鹿児島市】
- 30日（水）県町村議会議長会政務調査【山口県】～31日

議会活動



10月30日に福岡県宮若市議会による高齢者支援の取り組みについて、行政視察を受け入れました。



11月13日に宮崎県国富町議会による農林業ブランド作物の振興について、行政視察を受け入れました。



11月5日に伊佐市議会議員との交流会を開催し、観光DMO法人の株式会社やさしいまちが展開する曾木の滝近郊の「薬草の杜」を視察した後、県道鶴田大口線の整備状況等について意見交換を行いました。



11月6日に北薩地区植樹祭が出水市高野山公園で開催され、文教経済常任委員が出席し植樹を行いました。



11月19日にさつま地区保育連合会（町内12園）と子ども・子育て支援制度について、意見交換を行いました。

編集後記

平成31年の新春となり、また、新しい年号の幕開けの年でもあり、町民の皆様には新たな気持ちで、希望あふれる新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

議会だよりも皆様に関心を持ってもらいたく、紙面づくりに工夫をいたしており、今後も納得をいただけるよう研鑽に努めます。町民皆様方からのご教示を仰ぎながら今年も頑張つてまいりますので、お気づきのところがございますましたら、ご一報くだされば幸いです。今年一年どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、皆様にとって今年一年がご健勝で実り多き年でありますことをご祈念申し上げます。編集後記といたします。

（上園）

議会広報特別委員会

委員長 米丸 文彦
副委員長 田野 光彦
委員 上野 一幸
委員 三浦 広幸

発行／さつま町議会

発行責任者／さつま町議会議長 平八重 光輝

〒895-1803 さつま町宮之城屋地1565番地2 電話 0996-53-1111 FAX 0996-52-0704